

# ふるさと 通信員だより

vol.228

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



若葉町内会（保坂一会長、64戸）が、防災講座とお楽しみ会を総合福祉センターで開催し、16人の家族が交流しました。防災講座では、町危機対策課の須田直育推進員が、地震や風水害など自然災害が集中する近年、降水量は30年前の約1.4倍に増加し、町の崖崩れの恐れがある場所は51カ所あることなどをパワーポイントを使って説明。スマホやNHKの地震・台風マップを利用して情報収集することの大切さを学びました。

景品付きのお楽しみ会では、輪投げやオセロゲームでわいわいと大盛り上がりでした。



たかだ てつこ  
高田徹子 通信員

早い情報はスマホやNHKマップで



倉内良子さん（南鈴蘭）と館山咲子さん（公園下町）は4年前から、朝の散歩をしながらごみ拾いをしています。

最初は健康のためでしたが、公園沿いの歩道や散策路、駐車場などに捨てられているごみが目に付き、拾い始めました。特に、ガラスの瓶の破片などは大変危ないと感じているそうです。

お二人は「みんながマナーを守り、きれいに気持ちよく使える公園にしたい」と話してくれました。町には、ボランティア用のごみ袋があります。私も機会があったらごみ拾いをしようと思います。



いしだ ひろよ  
石田尚世 通信員

鈴蘭公園のごみ拾い